



# Rally challenge cup



## いよいよ開幕となる2015シリーズ! 今年はどうなドラマが待ち受けているのか。

### Rally Data

#### TRDラリーチャレンジカップ2015 Round 1 in 唐津

主催	グラベルモータースポーツクラブ(GRAVEL)
開催日	2015年4月12日(日)
開催エリア	佐賀県内
セレモニアル スタート会場	ニタ子3丁目倉庫 東港臨時駐車場
サービスパーク	ニタ子3丁目倉庫 東港臨時駐車場
ゴール会場	ニタ子3丁目倉庫 東港臨時駐車場
セクション数	2
SS本数	6
SSトータル距離	23.18 km
総走行距離	約115km
参加台数	22台 C-1 2台 E-1 3台 C-2 2台 E-2 6台 C-3 5台 E-3 4台
出走台数	22台
完走台数	22台

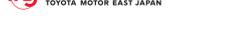
取材媒体	JAFスポーツ(一般誌)
	ベストカー(一般誌)
	ブレイドライブ(一般誌)
	ヨコハマタイヤ モータースポーツサイト(ウェブサイト)
	カーマガジン(一般誌)
	Tipo(一般誌)
	Rally Stream(ウェブサイト)
	J-SPORTS(テレビ)
	RALLY PLUS(ウェブサイト)
	ダンロップ モータースポーツサイト(ウェブサイト)

### TRDラリーチャレンジカップ初戦。 春の唐津を駆け抜けるラリーの風!

4月12日。佐賀県唐津市においてTRDラリーチャレンジ2015シリーズが開幕した。今シリーズからラリーチャレンジとラリーチャレンジカップという二つのシリーズ計10戦で争われることとなった本シリーズ。開幕戦は全日本ラリー選手権開幕戦「ツール・ド・九州2015 in 唐津」にTRDラリーチャレンジカップクラスとして併設された。2015年ラリーシーズン待望の開幕戦とあって、メイン会場となる唐津東港には早朝から多くのラリーファンが訪れていた。



22台がエントリーした本戦。西日本エリアからのエントリーが多かったが、皆勤エントリー更新中の小林選手など、関東からチャレンジトランスポーターを利用してエントリーする選手も多く見受けられた。



全日本ラリー選手権と同じコースを使用するため、これまでのラリーチャレンジに比べ若干難易度が高くチャレンジしがいのあるコース設定となった本戦。

SS1は3.62kmの白木々場SS。狭い路面ながら、幾重にもコーナーが連なるテクニカルコースとなる。アップダウンがあるこのコースで序盤にトップタイムを記録したのは、クスレーシング86でE-2クラスに参戦の地元選手・牟田／星野組だった。昨年C-3クラスのチャンピオンに輝き、今年はE-2クラスに挑戦する角谷／秋田組が2位に飛び込んだが、それでも5秒もの差が開くこととなる。

SS2は7.52kmの陣の山SS。ロングSSとなるこのステージでは後半2kmの下りポイントが肝となが、ここでも牟田／星野組が速さを見せ、他車を引き離す。また、C-3・E-3クラスにおいても1位の独走態勢となっていた。

SS3は、唐津東港エリアに設置された特設ギャラリーSS。400mと短い距離ながら、360度ターンなどジムカーナの要素を含むアプローチが面白いSSとなり、多くのギャラリーが熱い声援を送った。



午後のセクション2は、セクション1のSSを再び走行することとなる。各車タイムアップを記録するが、SS4においてE-3クラスに加藤／塩田組が15秒近くタイムアップ。その後も一位の松嶋選手を上回るタイムを連発したが、逆転まであと一歩のところまで勝利を逃した。E-2クラスは、牟田／星野組が独走態勢のままゴール。C-3クラスにおいては、長崎／三輪組が1分30秒近くもの差を広げての圧倒的勝利となった。

一方、E-1クラスとC-1クラスは接戦。片山／熊倉組と稲垣／兼原組のデッドヒートとなったE-1クラスは、SS3での稲垣組のミスが響く結果となり、片山組が4秒差で勝利をもぎ取った。

C-1クラスも一進一退の攻防であったが、今年から始まったステップアップサポートにエントリーしている丸山選手がロングSSで15秒近くタイムアップする気迫の走りを見せ、見事逆転勝利を飾った。次戦ラリーチャレンジは信州中川ラウンド。ラリーチャレンジ本戦の開幕となる信州中川戦に注目したい。



会場では、誰でも参加できるクイズラリー「唐津ドライブイン!」も開催。ラリーを観戦しながら、唐津市内の観光地を巡った。

ステップアップサポート ランキング

学生ドライバー部門

1	富本 諒 (奈良)	-
1	井之上 優 (福岡)	-

一般ドライバー部門

1	丸山 剛史 (東京)	16
2	加藤 英佑 (埼玉)	12
3	佐々木 康行 (愛知)	9
4	池田 みぎ (愛知)	-

SS コースレイアウト

Section 1

SS1 ターマック A 3.670 km

SS2 ターマック B 7.550 km

SS3 ターマック C 0.370 km

Section 2

SS4 ターマック A 3.670 km

SS5 ターマック B 7.550 km

SS6 ターマック C 0.370 km





class  
**C-1**

ヴィッツ 1000cc 限定



class  
**C-2**

ヴィッツ 1500cc 限定



class  
**C-3**

トヨタ 86 限定



class  
**E-1**

ヴィッツ 1500cc 限定



class  
**E-2**

トヨタ 86 限定



class  
**E-3**

トヨタ車限定とし、気筒容積区分無し  
※優勝の松高・赤木組は表彰式欠席

Class Pos.	Car No.	ドライバー	コ・ドライバー	車種	形式	所属クラブ	チーム名
E-2(Expert)トヨタ86							
1	102	牟田 周平	星野 元	86	ZN6	FMSC	クスコレーシング86
2	101	小倉 康宏	高田 高志	86	ZN6		小倉クラッチ ORC 86
3	106	角谷 豪也	秋田 典昭	86	ZN6	NAVUL	NTP 名古屋トヨペット 86
4	105	鶴田 健二	大城 明人	86	ZN6	TCF	トヨタローラ福岡あいま君86
5	104	大坂 章弘	小林 剛	86	ZN6		GR ラリーアカデミー 86
6	103	佐々木 康行	村木 佐千子	86	ZN6	SOMOS	Team BRIDE トヨタ86
C-3(Challenge)トヨタ86							
1	110	長崎 雅志	三輪 静秋	86	ZN6	NAVUL	NAVUL 86
2	109	塚本 政弘	中畑 光敏	86	ZN6	TTMS	jms POWERED 86
3	108	増元 信彦	大矢 啓太	86	ZN6	NAVUL	NAVUL 86
4	111	田中 実	戸高 輝昭	86	ZN6		トヨタ九州86
5	107	若松 仁	洞内 慶太	86	ZN6		SANGO Exhaust86
E-3(Expert)トヨタ車限定							
1	113	松高 裕貴	赤木 弥生	Vitz	NCP91	PUMA	ARTAオートボックスVITZ
2	112	加藤 英祐	塩田 卓史	カーレピン	AE111		雲田自動機械BRIGレピン
3	114	本多 真由美	松家 照幸	Vitz	NCP131	V	VICTORY-Vitz
4	115	武田 友己	白石 認	プリウス	NHW20	FRC. M	車屋さくら色プリウス
E-1(Expert) ヴィッツ1500cc(NCP131/NCP91)							
1	118	片山 義章	熊倉 健太	Vitz	NCP131		ネット福岡海陽ヴィッツ
2	116	稲垣 和也	兼原 洋治	Vitz	NCP131	TMSC	TEAM TRD Vitz
3	117	安藤 裕一	勝又 義信	Vitz	NCP131	RST	GR ヴィッツ CVT
C-2(Challenge)ヴィッツ1500cc(NCP131/NCP91)							
1	119	天野 浩明	森 凌	Vitz	NCP131	CRT	コンペキVITZ
2	120	鐘江 浩一	佐々木 要	Vitz	NCP91	TTMS	jms ガールズガレージ Vitz
C-1(Challenge)ヴィッツ1000cc(SCP10)							
1	122	丸山 剛史	大野 千明	Vitz	SCP10	RT. NASCH	RST SUNOCO Vitz
2	121	小林 直広	小林 紀子	Vitz	SCP10		NK Vitz 2015

次回、第2戦は4月26日(日)  
長野県内にて開催予定です。

リザルト等、詳細は... <http://trdrallychallenge.jp/>  
Official Web Site

主幹:TRDラリーチャレンジ事務局(株式会社プロクルーズ内)  
[Photograph] mk-labo